

第78期 株主通信

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日



改革・スピード・ベクトル
～変化への挑戦～



AsunaroAoki

青木あすなる建設

証券コード：1865



「パラダイムシフト」と 「更なる成長戦略の推進」 (改革・スピード・ベクトル)

代表取締役社長 **辻井 靖**

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました辻井 靖でございます。

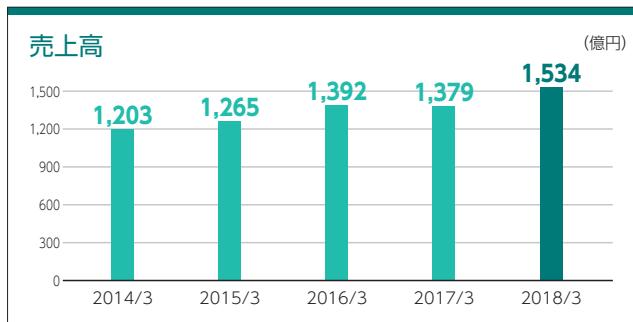
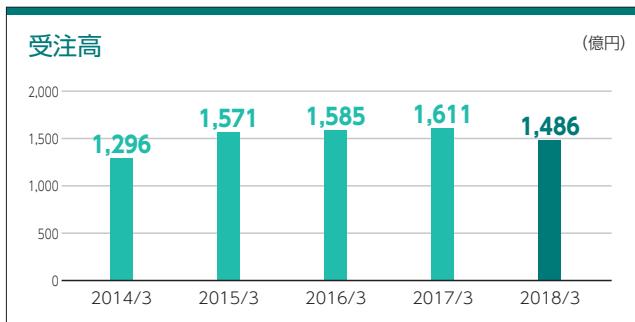
上野前社長の路線を引き継ぎ、企業価値向上に努めていく所存ですので、今後も、なお一層のご指導、ご協力をお願いいたします。

さて、皆様に株主通信をお届けするにあたり、2018年3月期の業績概要および今後の見通しについてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や地政学上のリスクの高まりなどにより先行き不透明な状況が続いたものの、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。

建設業界におきましても、民間設備投資を中心に

〈連結業績ハイライト〉



底堅く推移し、中期的にも建設需要は堅調に推移することが予想されますが、建設技能者・技術者不足や建設コストの上昇といった課題の拡大とともに、働き方改革への取り組みが求められています。

このような状況の中、当社グループは、従来からの建設請負業の枠内にとどまることなく、新たなパラダイムを創出していくことが不可欠であると考え、「パラダイムシフト」と「インフラ・イノベーション」をキーワードに、「10年後を見据えた事業体制の構築」と「生産性向上へのスピード感ある変革」にグループ一丸となって取り組んでおります。

当期の当社グループの連結業績は、受注高は前期比微減の1,486億円となりましたが、豊富な手持ち工事と工事利益率の改善により、売上高は1,534億円、営業利益、経常利益は76億円と過去最高の数字を残すことができました。

これもひとえに、株主の皆様をはじめ、当社にかかわる多くのステークホルダーの方々のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

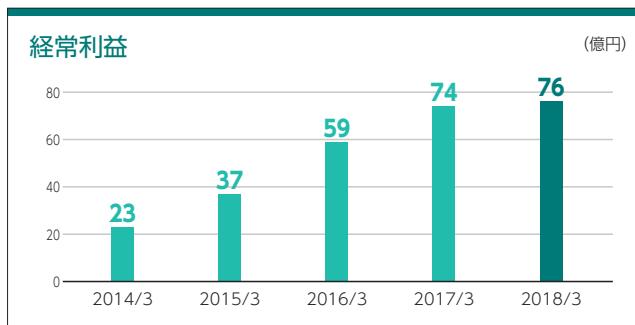
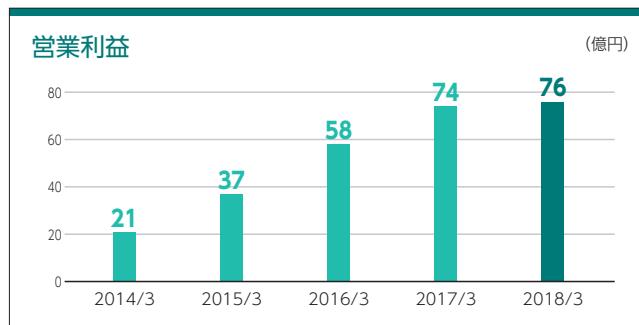
このような業績を背景に株主の皆様への当期配当金は、前期の1株当たり20円から2円増配し、22円とさせていただきます。

近年、我々を取り巻く社会はかつてないほどに急速に変化する時代を迎えており、建設業界においても例外ではなく、今後、建設需要の縮小と新設から維持更新工事へ需要が変わっていくことが予想され、また、人口・技能労働者の減少に伴い労働集約型産業からの転換を求められ、「パラダイムシフト」への対応により優勝劣敗が決まるなど大きな変革期に差し掛かっております。

このような環境のなか、想いを築く・心に響く建設会社として、市場環境の大きな変化に対応して、再生可能エネルギー事業や脱請負の新規事業などに取り組み、環境・社会・安全・品質に責任のある企業を目指してまいります。そして、これらの企業活動により持続的成長を実現することで、株主の皆様をはじめとするすべてのステークホルダーに高い満足感を与えられる会社となることを目標としております。

また、ガバナンス体制をさらに強化し、脈々と受け継がれてきた「ものづくりの原点」を次世代に承継していくとともに働き方改革に積極的に取り組むことにより、社会の発展に貢献していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中期経営計画の進捗

建設業界では、民間設備投資は緩やかな回復が継続するものの、政府建設投資と民間住宅投資は減少し、全体としては微減傾向が中長期的に継続するものと見られます。

民間設備投資の中でも、特に商業施設、工場は生産性合理化のための設備投資や老朽化設備の更新工事の増加が続き、物流施設も高性能・マルチテナント型施設等のニーズは底堅いと思われます。また、交通・通信・再生可能エネルギー等の土木インフラ系企業の設備投資が今後も堅調に推移することが見込まれる一方、建設技術者・技能者不足や建設コストの上昇といった課題の拡大とともに、働き方改革への業界全体

での取り組みが求められます。

今後、当社グループが持続的に発展していくためには、従来からの建設請負業の枠内にとどまることなく、新たなパラダイムを創出していくことが不可欠であると考え、2017年度を初年度とする中期経営計画を策定し、全社をあげて推進しています。

本計画を着実に実行することで、株主の皆様をはじめとする当社にかかわる多くのステークホルダーの方々に、より高い満足感を感じていただけますよう、グループ役員一丸となって目標達成に邁進する所存であります。

1. 基本方針

- ▶ 10年後を見据えた事業体制の構築
- ▶ 生産性向上へのスピード感ある変革

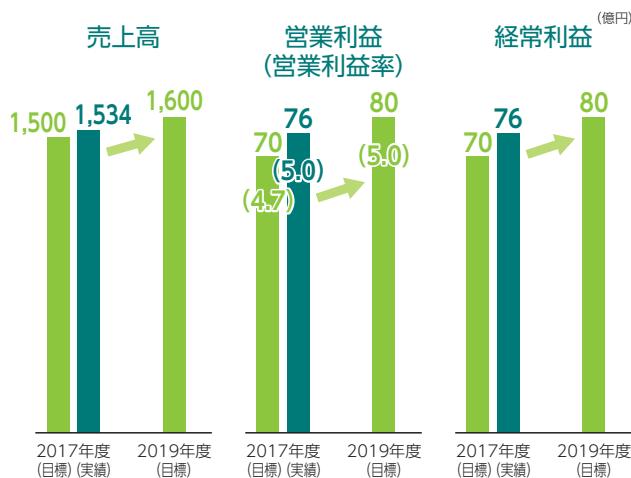
3. 重点施策

- 1▶ リニューアル関連への取組の更なる充実
- 2▶ 民間非住宅、特に民間土木の深耕、拡大とPFI・PPP等やコンセッションへの積極的参入
- 3▶ すべての分野でICT、i-Construction、無人化、ロボット等の合理化技術への対応を推進
- 4▶ ベース・プロジェクトの選別受注
- 5▶ アビダス事業に次ぐ新規事業の開拓
- 6▶ コンプライアンスの徹底および内部統制システムの充実とコーポレートガバナンスの強化
- 7▶ ものづくりの原点への回帰による安全と品質の確保
- 8▶ 女性活躍の推進

2. 基本戦略

- ▶ 建設投資の縮小を見越した事業領域の拡大
- ▶ i-Constructionへの対応による生産性向上により連結営業利益率5%の達成

4. 数値目標と実績(連結)



建築事業

当期の建築事業の売上高は、庁舎や物流施設などの進捗により408億円となり、売上総利益率は10.2%となりました。

来期は、商業施設や各種プラント施設などの手持ち工事の進捗により、増収を見込んでいます。また、官庁では工事実績を生かした新規省庁からの受注拡大、民間では大型の物流施設・工場に加え、インフラ整備事業の一環である各種プラント施設等の非住宅分野とPFI等への積極的な参加により、受注拡大へ注力し、業績拡大を目指します。



医療法人恵仁会 田中病院移転新築工事

土木事業

当期の土木事業の売上高は、大型の東日本大震災関連工事や新エネルギー関連工事等の進捗により1,080億円となり、売上総利益率は10.7%となりました。

来期は、交通インフラ工事や新エネルギー、PFI関連工事等を中心に受注拡大へ注力し、「10年後を見据えた事業体制の構築」にグループ一丸となって取り組んでまいります。また、「生産性向上へのスピード感ある変革」として、ICT、i-Construction、無人化、ロボット等の合理化技術への対応を推進していきます。



九州新幹線(西九州)、竹松高架橋他工事

不動産事業

当期の不動産事業の売上高は、分譲マンションの販売等により45億円となりました。今後も当社が長年培ってきた施工品質、アフターサービス体制をこれまで以上に確かなものとして、安心・安全で信頼できる顧客満足度の高いマンションをユーザーに提供し、売上、利益に貢献してまいります。

新マンションブランド「Tissage (ティサーージュ)」誕生！

住まう方一人ひとりが、快適で安心な毎日を過ごしていただけるように。日々の暮らしのなかで、夢や希望を織りなす住まいを創りたい。そんな願いを込めて、「ティサーージュ」は生まれました。

Tissage=(フランス語：織りなす)そこだけの空間と時間が織りなす個性的な暮らし。

Tissage ティサーージュ



「ティサーージュ荻窪」

当社の主な完成工事



福島県警察本部庁舎整備 (建築) 工事 (福島県福島市)
福島県の安全・安心の拠点となる福島県警察本部庁舎を新たに建設しました。新庁舎は福島市内に分散されていた各部署の機能を集約し、基礎免震構造により大地震発生時でも庁舎機能を十分に維持できる堅牢性を兼ね備えた、警察活動の中枢を担うに相応しい建物となりました。



草津市立クリーンセンター更新整備 土木建築工事 (滋賀県草津市)
1977年から稼働し、草津市内の一般廃棄物の中間処理 (焼却、破碎、中和等) をしている草津市立クリーンセンターの老朽化のための更新整備工事を実施しました。2018年3月14日に完成し、3月16日から運転を再開しております。



永平寺大野道路 浅見地区改良他工事 (福井県吉田郡永平寺町)
国土交通省近畿地方整備局発注の中部縦貫自動車道「永平寺大野道路」のうち、永平寺IC～上志比IC間の一部、延長2.5kmを施工しました。7月に全線開通し、福井県北部 (奥越地方) へのアクセスが向上しました。



度会ウインドファーム新設工事 (三重県度会郡度会町)
三重県東部の度会町は、年間を通じて北西から強い風が吹いており、県内でも有数の風力発電に適した地域となっています。この地で、発電規模2,000kwの風車14基を新設しました。電力供給世帯数は概算で17,000世帯分/年となり、度会町の総世帯数の7倍に相当します。

摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震工法

当社は、既設橋梁の支承部に「ダイス・ロッド式摩擦ダンパー(DRF-DP)」を設置することで、大地震時における橋脚基部の損傷を大幅に軽減し、地震直後も交通機能を維持できる高性能な橋梁耐震工法を、首都高速道路(株)と共同開発いたしました。

本工法は、摩擦ダンパーが「固定効果」と「エネルギー吸収効果」の2つの効果を発揮し、耐震性を向上させます。また、振動台実験等により、補強前に比べて大規模地震時の基部損傷を最大60%低減できることがわかりました。

ダイス・ロッド式摩擦ダンパーは、ダイス(環)の内径より少し太いロッド(芯棒)をダイスにはめ込むことで生じる締付け力を利用したダンパーであり、ダイスとロッドの摩擦力で、振動エネルギーを摩擦熱に変換・吸収し、地震動を効率良く減衰させる仕組みとなっています。

なお、ダイス・ロッド式摩擦ダンパーは、首都高速道路(株)が2015年6月に発効した「橋梁構造物設計施工要領」にスペックインされており、現在は、首都高速道路のロッキングピア部の補強として実施が予定されています。

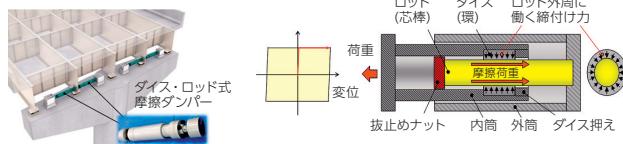


図1 摩擦ダンパーを用いた橋梁耐震補強工法

図2 摩擦ダンパーの機構

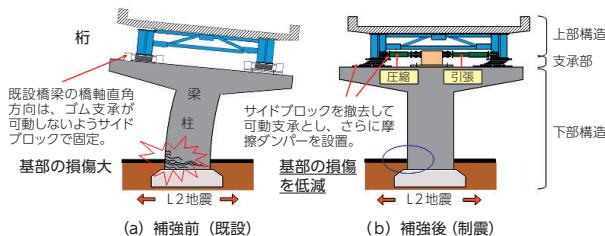


図3 補強効果の概念

子育てサポート企業の次世代認定マーク「くるみん」を取得しました

当社は、厚生労働省・東京労働局から次世代育成支援対策推進法に基づく一定の基準を満たした「子育てサポート企業」の認定を受け、2017年11月14日付で次世代認定マーク(愛称「くるみん」)を取得しました。

当社は、次世代育成支援対策推進法に基づき一般事業主行動計画を策定し、社員が仕事と育児を両立させることができ、安心して働ける環境をつくる取り組みの充実に努めてまいりました。今回、その取り組みが評価され、認定にいたったものです。



〈当社の一般事業主行動計画の主な目標と取組内容〉

▶ 目標1 「仕事と育児の両立支援の促進」

- ・女性社員の育児休業取得率80%以上の継続
- ・男性社員の育児休業の取得

▶ 目標2 「所定外労働時間削減のための措置」

- ・全社をあげて「ノー残業デー(毎週水・金曜日)」と「現場土曜閉所」への取組み

▶ 目標3 「年次有給休暇の取得促進のための措置」

- ・年次有給休暇の計画的付与の実施や現場異動時の休暇取得を促進

▶ 目標4 「その他の次世代育成支援に関する措置」

- ・学生に対するインターンシップ等の体験機会の提供
- ・地域の子どもに対する建設業への理解促進の場を提供



つくばちびっ子博士2017

会社データ

■ 会社概要

2018年6月20日現在

商号	青木あすなる建設株式会社 (Asunaro Aoki Construction Co.,Ltd.)
本社	東京都港区芝4丁目8番2号
設立	昭和25年9月25日
資本金	50億円
上場証券取引所	東京証券取引所
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人
従業員数	1,751名 (グループ全体)

役員	取締役会長	上野 康信	取締役	吉武 宣彦
	代表取締役社長	辻井 靖	取締役	西出 雅弘
	代表取締役	小野寺弘幸	取締役	妹尾 泰輔
	代表取締役	国竹 治之	取締役	梅田 明彦
	取締役	石田 優		
	取締役	橋本 富巨	常勤監査役	齋川 貞夫
	取締役	高橋 禎夫	常勤監査役	西川 友康
	取締役	高松 孝之	監査役	関 房雄
	取締役	朴木 義雄	監査役	有働 和明
	取締役	小川 完二		

グループ会社

会社名	主な事業内容	本社所在地	代表取締役
みらい建設工業株式会社	総合建設業	東京都港区	小西 武
東興ジオテック株式会社	法面保護工事、地盤改良工事、爆砕工事、保温・耐火工事	東京都港区	瀬高 末広
青木マリーン株式会社	海上埋立工事、海上工事、港湾工事、陸上土木工事	神戸市	樋元 健良
あすなる道路株式会社	道路工事、舗装工事	札幌市	岡村 秀豊
株式会社エムズ	建築リノベーション工事	東京都中央区	尾崎 彰郎
新潟みらい建設株式会社	舗装工事、一般土木工事	新潟県南魚沼郡湯沢町	浅賀 美夫
株式会社島田組	埋蔵文化財発掘調査、土木工事	大阪府八尾市	岩立 二郎
株式会社アクセス	埋蔵文化財発掘調査、土木工事	大阪府八尾市	利川 昇

ホームページのご案内

当社コーポレートサイトを
全面リニューアルしました。

今回のリニューアルでは、読みやすく使いやすいサイトを目標として、強みコンテンツの新設、工事実績の拡充、英語ページの新設などを充実させました。



青木あすなる建設

検索

<https://www.aconst.co.jp/>

表紙写真：DPL流山 I 新築工事（千葉県流山市）

株主優待制度の変更について

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、株主優待制度を実施しております。本年度の株主優待より、従来の「南魚沼産コシヒカリ(新米)」以外に、「社会貢献活動への寄付」等も選択できる制度を新たに設けさせて頂きました。詳しくは、同封しております「株主様ご優待のご案内」をご覧ください。

(従来の優待) 南魚沼産コシヒカリ(新米)

- ① 5kg (500株以上ご所有の株主様)
- ② 10kg (2,000株以上を5年以上に亘り所有されている株主様)

【お届け日】毎年10月下旬を予定

※株主名簿に記載の住所にお送りしますので、住所変更があった場合には、速やかに住所変更のお手続きをお願いいたします。



南魚沼産コシヒカリ

(今回追加した優待) 社会貢献活動への寄付2,500円

あしなが育英会 または、日本ユニセフ協会